

FAX:096-359-5783

T0: 国際ボランティアワークキャンプ実行委員会 事務局 宛

〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館

TEL 096-359-2121 FAX 096-359-5783 E-mail pj-info@kumamoto-if.or.jp

第 13 回 国際ボランティアワークキャンプ in A S O 参加申込書

* 個人情報の取り扱いに関しては、適切に管理しあらかじめ本人（保護者）の同意を得ることなく第3者に提供することはありません。

お名前	ふりがな		ふりがな		性別 男 女
	姓		名		年齢 歳
	生年月日	西暦 年 月 日			
住所 (連絡先)	〒 TEL : FAX : E-MAIL ※申込受付後、メールかFAXにて参加分科会と支払い手続き等の案内をさせていただきますので、必ず記入して下さい。				
保護者確認欄	本ワークキャンプへの参加を確認します。 尚、事故、ケガ等については、全体で加入する保険の範囲内での補償になります。 保護者名 : 印				
学校名	県 高等学校				学年 年生
分科会について 希望される分 科会に○して ください。	第 1 希望	※各分科会の内容については別紙分科会からのメッセージをご参照ください。 ※分科会の選択についてはご希望に添えない場合がありますのでご了承下さい。 第 1 2 3 4 5 6 7 分科会			
	第 2 希望	第 1 2 3 4 5 6 7 分科会			
このワークキ ャンプに期待 すること等自 由にお書き下 さい。	* 当日のワークキャンプの参考にさせていただきます。				

事務局使用欄 :

高 校 生 か ら の メ ッ セ ー ジ

(分科会を選択する時の参考にしてください。)

第 1 分科会 「Child Labor -児童労働-」

メッセージ：皆さんは児童労働の問題について知っていますか？児童労働とは子供達が強制的に働かされている問題です。私たちは何も心配せずに生活することができますが、児童労働に従事している子供達は私たちに、あって当たり前の自由がありません。この分科会ではゲームやディスカッションなど様々なアクティビティを通じて、問題について考えていきます。遠い世界のことに感じるかもしれませんが同じ子供として何が出来るか考えましょう。

第 2 分科会 「情報リテラシー」

メッセージ：情報リテラシーとは、情報を自己の目的に適合するように使用できる能力の事とされています。何やら難しい表現ですが、得た情報を上手に使えるかということです。現代の私たちは、SNS やインターネットにより情報で溢れている社会の中で、様々な事柄や人々と“ツナガル”ことが出来ます。その中で正しい情報の取捨選択をしていくために何が必要か、一緒に考えて見ましょう！

第 3 分科会 「自己表現」

メッセージ：皆さんには言いたい事があったのに言えなかった事はありませんか？時には意見を言い自分を表現していくことはとても大切だと思います。なぜ意見を言い出せないのか、その原因と解決策について私達と一緒に考えてみましょう！ここでの体験が今後の人生において自己を主張できる新しい自分に出会い理想の未来を掴むきっかけになるのでは！

第 4 分科会 「社会福祉（障がい）」

メッセージ：パラリンピックなどの様々な事例を紹介して、障がい者と健常者が共存、協力して社会をつくるにはどうすれば良いかを皆で考えてみよう！障がいのある方の体験談や話を聞き、障がいについて改めて知ることに関心を持ち、健常者として、障がい者として日常生活で何が出来るか皆で考え、意見を出し合い、行動に移してみよう！

第 5 分科会 「平和」

メッセージ：皆さんにとって「平和」とは何ですか？「平和」と聞くと難しく考えてしまうかもしれませんが。でも私達の身の周りに目を向けてみると確かに出来ることがあります。この分科会を通じて、誰もが平和のバトンを繋ぐ主役になれるはず！あなたもありのままの想いを共有して平和な世界をつくる一歩を共に踏み出してみましょう！

第 6 分科会 「多文化共生」

メッセージ：皆さんは多文化共生って聞いたことありますか？“ハーフ”や“ダブル”と聞いてどんなイメージを持ちますか？「2ヶ国語以上話せる」や「かっこいい！かわいい！」などといったイメージを思い浮かべるかと思います。しかし、実際は文化の異なる国をルーツに持つことで彼らならではの問題をいくつも抱えています。この分科会ではゲームやクイズ、当事者の体験談を通じて“外国にルーツを持つ人”について認識してもらい、そして多文化共生社会について理解を深めてもらえたらと思います。

第 7 分科会 「減災」

メッセージ：減災って聞いたことありますか？減災とは災害を防ぐ(防災)の事ではなく、災害が起こった時に被害を減らそうという考え方です。この分科会では、熊本地震から2年が経った今、外国人に目を向けた減災を考えます。今、もし災害が起こったら、あなたは自分以外の人に目を向けられるでしょうか。色んなゲームをやっけていながら、留学生・高校生の皆さんと一緒に私達に何が出来るか考えていきましょう！

※諸事情によりプログラムの一部が変更になる場合がありますのでご了承ください。